

# intra-mart WebPlatform/AppFramework

## 英語コンテンツ Version7.2

### リリース・ノート

初版 2010/09/10

#### 1. はじめに

- (1) 本ドキュメントは本製品固有の要件を記載しています。以下に記載のないものは、全て intra-mart WebPlatform/AppFramework Version7.2 の要件に準じます。
- (2) 本製品は、intra-mart WebPlatform/AppFramework Version7.2 に対応した英語コンテンツです。
- (3) 本製品は、下記の製品に対応しています。
  - intra-mart WebPlatform/AppFramework Version7.2 スタンダード
  - intra-mart WebPlatform/AppFramework Version7.2 アドバンス
- (4) 本製品をインストールして、ユーザ(またはログイングループなど)のロケール設定で[en]を選択することにより、キャプションが英語で表示されます。

#### 2. システム要件

##### 2.1 サーバ要件

- ハードディスク領域:10MB

### 3. 制限事項

- (1) 本製品をインストールする場合は、intra-mart WebPlatform/AppFramework Version7.2 の「サーバモジュールの文字コード」および「ウェブブラウザへ送信する文字コード」を Unicode (**UTF-8**) に統一してください(データベースも Unicode で構築する事を推奨します)。
- (2) 本製品をインストールする場合は、「intra-mart WebPlatform/AppFramework Version7.2 Patch 1」以降を適用してください。
- (3) データベースを Unicode 以外で構築した場合、多言語環境で文字化け等が発生する事があります。
- (4) データの状態(ユーザの入力内容)によって、画面には多言語表示されてしまう事があります(入力内容が自動的に翻訳される事はありません)。
  - ワークフローのデータは、申請時のロケール情報で案件表示されます。
  - ワークフローの案件名等はユーザの入力内容がそのまま表示されます。
  - ポータルの設定データ(タブ名やポートレット名)は入力したものがそのまま表示されます。
  - マイメニューは設定時のメニュー名が表示されます。
  - ViewCreator の入力内容(アプリケーション名など)は、入力内容がそのまま表示されます。
  - UDDI のパブリッシャー名は、登録時の名称で表示されます。
- (5) メール送信APIは、送信先によって自動的に言語変換(本文の翻訳)する機能はありません。
- (6) 本製品は、英語表示に対応した製品です。その他の国際化要素(例えば、各国の祝祭日に合わせたカレンダー設定など)には対応していません。
- (7) 英語コンテンツ と 中国語コンテンツ(簡体字) をインストールしている状態で、intra-mart WebPlatform/AppFramework 本体の初期データインポートを実行した場合、インストール順序にかかわらず、管理者メニューの備考、バッチ名称、および、Web サービスアクセス設定の説明は、中国語表示になります。

管理者メニューの備考を英語表記にしたい場合は、システム管理者の「ライセンス」画面にて、「WebPlatform/AppFramework English Contents (for \*\*)」の管理メニューインポートを行ってください。

バッチ名称や Web サービスアクセス設定の説明を英語表記にしたい場合は、ログイングループ管理者のメニュー[アクセスセキュリティ情報入出力]-[インポート]より設定ファイルのインポートを行ってください。設定ファイルは、以下にインストールされています。

  - %Storage Service のインストールディレクトリ%/storage/system/basic/init-batch-\*\_en.xml
  - %Storage Service のインストールディレクトリ%/storage/system/basic/init-ws-access-\*\_en.xml
- (8) システム管理者の画面上に表示されるエラーメッセージに関して、システム管理者のロケールではなく、JavaVM のデフォルトロケールに紐づいた言語のメッセージが表示される場合があります。
  - 例 : システム管理者 の メニュー [データソース設定] および [データソースマッピング設定] の エラー画面に表示される詳細エラーメッセージ

なお、JavaVM のシステムプロパティ「user.language」を設定する事で、上記エラーメッセージのロケールを変更する事が可能です。(WebPlatform の場合は、ApplicationRunime の conf/imart.xml - intra-mart/platform/java/server/command/option に「-Duser.language=en」を追記してください。AppFramework の場合は、ご利用の Application Server の設定方法に従ってください)
- (9) BPW のプロセス定義インポート/エクスポート用の Excel ファイルは、翻訳されていません。
- (10) 本製品には、クライアント通知機能は含まれません。

- (11) 本製品には、英語によるドキュメント、マニュアル、ヘルプとしてのマニュアル、および、サンプルは含まれません。サンプルに関しては、プログラム、メニュー、データ等が、空白で表示されたり、未定義状態となったりします。
- (12) 本製品が使用しているオープンソースのライブラリの一部には、英語コンテンツに対応していないものがあります。

#### 4. これまでに判明している問題

- (1) ログイングループ管理者 の [ログイングループ管理]-[メッセージカスタマイズ設定]で、ページ遷移時に表示ロケールが維持されない。
- (2) ログイングループ管理者 の [ログイングループ管理]-[メッセージカスタマイズ設定]で、検索対象言語コンボボックスの値が、検索実行後にログイングループ管理者のロケールに紐づいた言語で表示されない。
- (3) ログイングループ管理者 の [IM-共通マスタ]-[会社・組織] の「会社ソート順変更」画面で、ソート順変更の「上へ」「下へ」キャプションが多言語化されていない。
- (4) 一般ユーザ の [ユーザ設定]-[プライベートグループ設定] の「所属ユーザー一覧」画面で、数値ではない値がソート番号に入力された状態で所属の解除を行うとエラーが発生するが、この際のエラーメッセージが、ログインユーザのロケールに紐づいた言語のメッセージとなっていない。
- (5) システム管理者の[データソース設定]にて、「接続検証プロパティ」ペインを開くとレイアウトが崩れる。(IEのみ)
- (6) グループ管理者の[カレンダー設定]にて、キャプションが途中で切れている箇所がある。
- (7) IM-共通マスタの画面上に表示されるボタンに関して、キャプションがボタン内に収まりきらない箇所がある。

## 5. 著作権および特記事項

intra-mart は、株式会社 NTT データ イントラマートの商標です。

Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

他の会社名、製品名およびサービス名などは、それぞれ各社の商標または登録商標です。

本製品を使用する場合は、本製品に含まれる各ソフトウェアのライセンスについても同意したものとします。

各ソフトウェアのライセンスについては、同封のライセンスシートをご参照ください。

## 6. 変更履歴

変更年月日	変更内容
2010/09/10	初版